

西尾市事務事業評価シート

事務事業No.	40		事務事業名 (中事業名)	市民と協働するまちづくり推進事業 ()					
予算科目	02	01	13	大事業	02	中事業	00	担当課名	地域つながり課
総合計画施策コード	611			事務開始年度	平成17年度		備考		
根拠法令等	西尾市校区コミュニティ推進協議会活動費補助金交付要						作成月	令和3年9月	

事業の概要

●事業の内容【PLAN】

事業の目的 (どうするために)	地域コミュニティや市民活動団体等の活動を支援することで、地域力の向上を図る。
事業の対象 (誰(何)のために)	校区コミュニティ推進協議会、町内会、市民活動団体、NPO、ボランティア団体等
事業の概要 (具体的に何を)	<ul style="list-style-type: none"> 校区コミュニティ推進協議会活動費補助金の交付 西尾市非営利活動法人設立支援補助金の交付 西尾市コミュニティ助成事業補助金の交付

●事業費の内訳【DO】

項目	令和元年度(決算)	令和2年度(決算)	令和3年度(予算)	
事業費①	18,331,577円	31,154,121円	41,759,000円	
事業にかかる人工	0.80人	0.80人	0.80人	
事業にかかる人件費②	5,750,046円	5,813,162円	5,826,222円	
総事業費③(①+②)	24,081,623円	36,967,283円	47,585,222円	
総財源業内費 の ③	使用料・手数料	0円	0円	0円
	国からの支出金	0円	0円	0円
	県からの支出金	0円	0円	0円
	市費	22,181,623円	19,667,283円	43,885,222円
	その他	1,900,000円	17,300,000円	3,700,000円
R2 総事業費③の対前年度差額	12,885,660円	R2 総事業費③の対前年度比率	53.51%	
事業費の増減理由 (対前年度比10%超の場合記入)	西尾市コミュニティ助成事業補助金(特財)が増加したため。			
事業費の中の 主な支出項目 (R2決算額)	項目	概要	金額	
	補助金	校区コミュニティ推進協議会活動費補助金(26団体)	7,924,000円	
	補助金	西尾市特定非営利活動法人設立支援補助金(1団体)	100,000円	
	補助金	西尾市コミュニティ助成事業補助金(2団体)	17,300,000円	

●指標の設定【DO】

(事業の実施にあたり、どれだけ成果(成果指標)を得るために、どれだけ活動(活動指標)をするか。)

成果指標	○事業で得たい成果を示すもので、受益者(市民)の観点から捉えた具体的な効果や効用(アウトカム)事業の目的						
	具体的な指標	校区コミュニティ推進協議会活動費補助金加算事業数					
	指標の推移	令和元年度	単位	令和2年度	単位	令和3年度	単位
	目標値	76	事業	77	事業	77	事業
	実績値	77	事業	61	事業	*****	
活動指標	○事業全体の結果を示すもので、具体的な活動量や活動実績(アウトプット)						
	具体的な指標	校区コミュニティ推進協議会活動費交付件数					
	指標の推移	令和元年度	単位	令和2年度	単位	令和3年度	単位
	目標値	26	件	26	件	26	件
	実績値④	26	件	26	件	*****	
活動一単位当たりのコスト(③÷④)		令和元年度	令和2年度		令和3年度		
		926,216円	1,421,819円		*****		

●担い手の点検と事業の終期【DO】

事業の委託状況	委託していない	委託の内容	-
事業の終了時期	未定	事業の終了時期が未定の場合、事業の抜本的な見直し時期	令和3年度
事業の終了時期が未定の場合の理由	地域コミュニティや市民活動団体等の活動を継続していくためには、活動費の支援が必要であるため。		

評 価

●個別評価【CHECK】 ◎:適正 ○:概ね適正 △:適正ではない -:いずれにも該当しない

評価項目	評価項目		評価	評価項目		評価
	妥当性	有効性		効率性	公平性	
妥当性	市が関与することが適切か(委託・民営化は不可能)		○	効率性	単位コストは、前年を下回っているか	○
	国・県・市・民間との役割は適切か		○		事業実績や目的に対して費用がかかりすぎているか	○
	変化する社会情勢の中で、事業の意義は失われていないか		○		委託等、手段を変更してもコスト削減は期待できないか	△
	事業に対する市民ニーズを把握しているか		○		事務の手段を工夫しても業務時間は短縮できないか	○
有効性	事業の目的は達成できているか		○	公平性	受益者に偏りはないか	○
	事務を継続することで、成果の向上が期待できるか		○		受益者負担を求めている、また、求めている状況は適切か	○
	事務成果が上位施策の目標達成に貢献しているか		○		受益者負担の割合は適切か	○
	他市町村と比べて上位に位置しているか		○		サービスの提供方法に公平性を欠いていないか	○
評価の総合的なコメント	補助金等検討委員会の検討結果を受け、市民活動推進活動補助金と校区コミュニティ推進協議会活動費補助金の制度の抜本的な見直しを行い、より効率的な補助金制度となった。					
事業の方向性	(評価)	1 今後も、ほぼ現行どおり(事業の内容・規模・手法)進める				
	(理由)	地域コミュニティや市民活動団体の活動による住民総合の交流や地域課題の解決、地域の活性化は必要不可欠であるため。				
民間委託又は市民協働拡大の方向性	引き続き、地域コミュニティや市民活動団体等と連携し、地域力の向上を図る。					
事業全体の課題	地域コミュニティの役員の高齢化や担い手不足。 価値観や生活形態の多様化による地域と住民の関係の希薄化。 新型コロナウイルス感染症によるコミュニティ活動の停滞。					

●近隣の状況【CHECK】

同類事業の近隣市の実施状況	コミュニティ活動に対する補助 A市…地区コミュニティ推進事業交付金 均等割額+世帯割額 (30万円+2~8万円) B市…地域協働推進事業補助金 1学区 25万円を上限 (3事業まで)
---------------	---

●参考意見等【CHECK】

市民サービス向上に向けた意見等	なし
-----------------	----

●改善案【ACTION】

今後の改善策	社会情勢や地域コミュニティの現状、多様化する市民ニーズを踏まえ、5年毎に補助事業を見直していく。
--------	--

西尾市事務事業評価シート

事務事業No.	41	事務事業名 (中事業名)	男女共同参画社会推進事業 ()						
予算科目	02	01	13	大事業	07	中事業	00	担当課名	地域つながり課
総合計画施策コード	613			事務開始年度	平成13年度		備考		
根拠法令等	男女共同参画社会基本法						作成月	令和3年9月	

事業の概要

●事業の内容【PLAN】

事業の目的 (どうするために)	本市の男女共同参画社会（固定的な性別役割分担意識にとらわれず、市民一人一人が希望や意欲に応じて、あらゆる分野で活躍できるような社会）の実現。
事業の対象 (誰(何)のために)	本市で暮らす市民や事務所を構える事業所のため。
事業の概要 (具体的に何を)	市民活動グループばらネットと協働で市民や事業所を対象とした啓発セミナーの開催や若年者を対象とした講演会の開催、男女共同参画情報誌の発行などを行なった。本市の男女共同参画社会推進計画を示した「第2次西尾市男女共同参画プラン」の中間年度の見直しのため、平成29年度に実施した意識調査の結果を踏まえ、改訂版を策定した。

●事業費の内訳【DO】

項目	令和元年度(決算)	令和2年度(決算)	令和3年度(予算)	
事業費①	1,074,488円	1,079,742円	1,551,000円	
事業にかかる人工	1.00人	1.00人	1.00人	
事業にかかる人件費②	7,187,558円	7,266,452円	7,282,778円	
総事業費③(①+②)	8,262,046円	8,346,194円	8,833,778円	
総事業費の内訳③	使用料・手数料	0円	0円	0円
	国からの支出金	0円	0円	0円
	県からの支出金	0円	0円	0円
	市費	8,262,046円	8,346,194円	8,833,778円
	その他	0円	0円	0円
R2 総事業費③の対前年度差額	84,148円	R2 総事業費③の対前年度比率	1.02%	
事業費の増減理由 (対前年度比10%超の場合記入)				
事業費の中の 主な支出項目 (R2決算額)	項目	概要	金額	
	委託料	推進事務委託料、情報誌作成及び託送作業委託料、ALL V シンボルマークデザイン化及びグッズ作成業務委託	1,052,860円	
	旅費	人材育成セミナー等旅費(西尾⇄名古屋)	16,380円	

●指標の設定【DO】 (事業の実施にあたり、どれだけの成果(成果指標)を得るために、どれだけの活動(活動指標)をするか。)

成果指標	○事業で得たい成果を示すもので、受益者(市民)の観点から捉えた具体的な効果や効用(アウトカム)事業の目的						
	具体的な指標	男女共同参画に関する講座・セミナーの参加人数					
	指標の推移	令和元年度	単位	令和2年度	単位	令和3年度	単位
	目標値	800	人	800	人	800	人
	実績値	676	人	710	人	*****	
活動指標	○事業全体の結果を示すもので、具体的な活動量や活動実績(アウトプット)						
	具体的な指標	市民活動団体との協働事業の開催数					
	指標の推移	令和元年度	単位	令和2年度	単位	令和3年度	単位
	目標値	7	事業	7	事業	7	事業
	実績値④	4	事業	3	事業	*****	
活動一単位当たりのコスト(③÷④)		令和元年度	令和2年度		令和3年度		
		2,065,512円	2,782,065円		*****		

事業の委託状況	一部委託している	委託の内容	男女共同参画啓発事業
事業の終了時期	未定	事業の終了時期が未定の場合、事業の抜本的な見直し時期	令和5年度
事業の終了時期が未定の場合の理由	法律に基づく政策のため。なお、見直しは計画の更新毎に行う。		

評 価

●個別評価【CHECK】 ◎:適正 ○:概ね適正 △:適正ではない -:いずれにも該当しない

評価項目	評価項目		評価項目		
	評価	評価	評価	評価	
妥当性	市が関与することが適切か(委託・民営化は不可能)	○	効率性	単位コストは、前年を下回っているか	△
	国・県・市・民間との役割は適切か	◎		事業実績や目的に対して費用がかかりすぎているか	○
	変化する社会情勢の中で、事業の意義は失われていないか	◎		委託等、手段を変更してもコスト削減は期待できないか	○
	事業に対する市民ニーズを把握しているか	○		事務の手段を工夫しても業務時間は短縮できないか	○
有効性	事業の目的は達成できているか	○	公平性	受益者に偏りはないか	○
	事務を継続することで、成果の向上が期待できるか	○		受益者負担を求めている、また、求めている状況は適切か	◎
	事務成果が上位施策の目標達成に貢献しているか	○		受益者負担の割合は適切か	◎
	他市町村と比べて上位に位置しているか	○		サービスの提供方法に公平性を欠いていないか	◎
評価の総合的なコメント	市民活動団体と連携し、社会の動向や市民ニーズを踏まえ充実したテーマでセミナー等を開催することができたが、固定的な意識の改革には未だ地道な事業が求められる。				
事業の方向性	(評価)	1 今後も、ほぼ現行どおり(事業の内容・規模・手法)進める			
	(理由)	男女共同参画の意識は徐々に浸透してきていると思われるものの、市民の生活に根ざした意識改革には至っていないと考えられるため。			
民間委託又は市民協働拡大の方向性	市民活動団体の特性が生かされ、効果的、効率的に事業を進めていくことができるため、現行どおり協働を進める。				
事業全体の課題	<ul style="list-style-type: none"> 地域における男女共同参画意識の醸成 あらゆる分野において根強く残る固定的な性別役割分担意識や慣行の見直し 男女共同参画意識の醸成を図るための人材の発掘と育成 				

●近隣の状況【CHECK】

同類事業の近隣市の実施状況	市町によってばらつきはあるが、先進的な市では男女共同参画事業の活動拠点となる施設を設置しており、年間を通じて講演会や相談・支援事業を実施している。また、多くの市町で、市民活動団体と協働で啓発冊子を作成するなどしている。
---------------	---

●参考意見等【CHECK】

市民サービス向上に向けた意見等	特になし
-----------------	------

●改善案【ACTION】

今後の改善策	セミナーなどの啓発事業に関わる年齢層・性別などが固定的になってしまうため、事業を協働で実施する市民活動団体において若い方を主体に活動することや、新しい層確保のため啓発内容、周知の仕方を行うなど参加者の裾野を広げる工夫が必要
--------	---

西尾市事務事業評価シート

事務事業No.	42	事務事業名 (中事業名)	地域国際化事業 ()						
予算科目	02	01	13	大事業	08	中事業	00	担当課名	地域つながり課
総合計画施策コード	632			事務開始年度	平成15年度			備考	
根拠法令等	西尾市多文化共生協議会規則 等						作成月	令和3年9月	

事業の概要

●事業の内容【PLAN】

事業の目的 (どうするために)	国籍や民族などの異なる人々が、互いの文化的違いを認め合い、対等な関係を築こうとしながら、地域社会の構成員として共に生きていくことができる多文化共生社会を推進する。
事業の対象 (誰(何)のために)	外国籍住民及び外国籍住民に関わる者
事業の概要 (具体的に何を)	<ul style="list-style-type: none"> 多文化共生協議会を設置し、多文化共生に係る重要事項の審議等を実施する。 やさしい日本語版、ポルトガル語版、ベトナム語版の生活情報誌を発行する。 SNS (Facebook) により、外国人向けの情報を発信する。 外国人住民を対象に、多言語で情報提供や相談を行う外国人相談窓口を開設する。

●事業費の内訳【DO】

項目	令和元年度(決算)	令和2年度(決算)	令和3年度(予算)	
事業費 ①	4,946,553円	8,409,322円	8,825,000円	
事業にかかる人工	0.70人	1.40人	1.40人	
事業にかかる人件費②	5,031,291円	10,173,033円	10,195,889円	
総事業費③(①+②)	9,977,844円	18,582,355円	19,020,889円	
総財源内費 ③の	使用料・手数料	0円	0円	0円
	国からの支出金	708,831円	3,340,142円	3,039,000円
	県からの支出金	0円	0円	0円
	市費	9,269,013円	15,242,213円	15,981,889円
	その他	0円	0円	0円
R2 総事業費③の対前年度差額	8,604,511円	R2 総事業費③の対前年度比率	86.24%	
事業費の増減理由 (対前年度比10%超の場合記入)	多文化共生プラン策定支援業務委託料(令和4年3月策定予定)のため。令和2年度から開設した外国人相談窓口設置による、会計年度職員(通訳)の配置、テレビ電話通訳利用料等のため。			
事業費の中の 主な支出項目 (R2決算額)	項目	概要	金額	
	その他委託料	多文化共生プラン策定支援業務委託料	3,586,000円	
	その他委託料	やさしい日本語版外国人向け情報誌作成業務委託料	1,431,672円	
	筆耕翻訳料	テレビ電話通訳システム利用料	1,253,736円	

●指標の設定【DO】

(事業の実施にあたり、どれだけの成果(成果指標)を得るために、どれだけの活動(活動指標)をするか。)

成果指標	○事業で得たい成果を示すもので、受益者(市民)の観点から捉えた具体的な効果や効用(アウトカム)事業の目的						
	具体的な指標	facebook「にしおからのおしらせ」のフォロワー数					
	指標の推移	令和元年度	単位	令和2年度	単位	令和3年度	単位
	目標値	500	人	800	人	1,100	人
	実績値	541	人	899	人	*****	
活動指標	○事業全体の結果を示すもので、具体的な活動量や活動実績(アウトプット)						
	具体的な指標	facebook「にしおからのおしらせ」の1日平均リーチ件数					
	指標の推移	令和元年度	単位	令和2年度	単位	令和3年度	単位
	目標値	80	件	150	件	250	件
	実績値④	82	件	195	件	*****	
活動一単位当たりのコスト(③÷④)		令和元年度	令和2年度		令和3年度		
		121,681円	95,294円		*****		

●担い手の点検と事業の終期【DO】

事業の委託状況	委託していない	委託の内容	-
事業の終了時期	未定	事業の終了時期が未定の場合、事業の抜本的な見直し時期	未定
事業の終了時期が未定の場合の理由	年々増加している外国籍住民に対して、実践的な多文化共生施策を展開することが多文化共生社会の実現につながると考えられるため、継続した取り組みが必要である。		

評 価

●個別評価【CHECK】 ◎:適正 ○:概ね適正 △:適正ではない -:いずれにも該当しない

評価項目	評価項目		評価	評価項目		評価
	妥当性	有効性		効率性	公平性	
妥当性	市が関与することが適切か(委託・民営化は不可能)		◎	効率性	単位コストは、前年を下回っているか	—
	国・県・市・民間との役割は適切か		○		事業実績や目的に対して費用がかかりすぎているか	○
	変化する社会情勢の中で、事業の意義は失われていないか		◎		委託等、手段を変更してもコスト削減は期待できないか	○
	事業に対する市民ニーズを把握しているか		◎		事務の手段を工夫しても業務時間は短縮できないか	○
有効性	事業の目的は達成できているか		○	公平性	受益者に偏りはないか	○
	事務を継続することで、成果の向上が期待できるか		○		受益者負担を求めている、また、求めている状況は適切か	○
	事務成果が上位施策の目標達成に貢献しているか		◎		受益者負担の割合は適切か	—
	他市町村と比べて上位に位置しているか		○		サービスの提供方法に公平性を欠いていないか	○
評価の総合的なコメント	本市の外国籍住民の急増及び多国籍化に対応し、相談体制及び情報発信体制を拡大し、多文化共生施策の実施へとつなげることができた。					
事業の方向性	(評価)	2 今後は、内容を見直して事業を拡大する				
	(理由)	外国籍住民の増加による生活環境や、国籍等の多様化が続くと想定されるため、随時、効果的な施策を柔軟に見直して実施することが望ましいため。				
民間委託又は市民協働拡大の方向性	関係機関、外国籍住民、外国籍支援団体との協働が望ましい。					
事業全体の課題	本市における外国籍住民の急増と多国籍化が進んでいる状況から、やさしい日本語や多言語を使って情報発信するなど、外国籍住民のコミュニケーション支援が求められている。					

●近隣の状況【CHECK】

同類事業の近隣市の実施状況	外国人相談窓口設置件数…愛知県内では本市以外に16市町が設置。
---------------	---------------------------------

●参考意見等【CHECK】

市民サービス向上に向けた意見等	なし
-----------------	----

●改善案【ACTION】

今後の改善策	全庁的に、外国人対応の必要性の意識を高める。
--------	------------------------

西尾市事務事業評価シート

事務事業No.	43	事務事業名 (中事業名)	国際交流協会事業 ()						
予算科目	02	01	13	大事業	09	中事業	00	担当課名	地域つながり課
総合計画施策コード	633			事務開始年度	平成5年度		備考		
根拠法令等	西尾市国際交流協会会則 等						作成月	令和3年9月	

事業の概要

●事業の内容【PLAN】

事業の目的 (どうするために)	市民の国際交流、国際親善について理解と関心を高める
事業の対象 (誰(何)のために)	国際交流に関わる市民
事業の概要 (具体的に何を)	<ul style="list-style-type: none"> ・姉妹都市であるニュージーランド国ポリルア市との交流。年に1度、夏休みに市内在住・在学の高校生10名を派遣する。 ・西尾市国際交流協会の事業費に対し補助する。

●事業費の内訳【DO】

項目	令和元年度(決算)	令和2年度(決算)	令和3年度(予算)	
事業費①	1,834,245円	1,200,000円	2,670,000円	
事業にかかる人工	0.60人	0.60人	0.60人	
事業にかかる人件費②	4,312,535円	4,359,871円	4,369,667円	
総事業費③(①+②)	6,146,780円	5,559,871円	7,039,667円	
総財源業内費 ③の	使用料・手数料	0円	0円	0円
	国からの支出金	0円	0円	0円
	県からの支出金	0円	0円	0円
	市費	6,146,780円	5,559,871円	7,039,667円
	その他	0円	0円	0円
R2 総事業費③の対前年度差額	-586,909円	R2 総事業費③の対前年度比率	-9.55%	
事業費の増減理由 (対前年度比10%超の場合記入)	-			
事業費の中の 主な支出項目 (R2決算額)	項目	概要	金額	
	その他委託料	西尾市姉妹都市親善訪問団(高校生)派遣事業委託料	634,245円	
	補助金	西尾市国際交流協会補助金	1,200,000円	

●指標の設定【DO】

(事業の実施にあたり、どれだけの成果(成果指標)を得るために、どれだけの活動(活動指標)をするか。)

成果指標	○事業で得たい成果を示すもので、受益者(市民)の観点から捉えた具体的な効果や効用(アウトカム)事業の目的						
	具体的な指標	国際交流協会が実施した事業への参加者数					
	指標の推移	令和元年度	単位	令和2年度	単位	令和3年度	単位
	目標値	1,100	人	550	人	660	人
	実績値	1,050	人	480	人	*****	
活動指標	○事業全体の結果を示すもので、具体的な活動量や活動実績(アウトプット)						
	具体的な指標	国際交流協会での事業開催数					
	指標の推移	令和元年度	単位	令和2年度	単位	令和3年度	単位
	目標値	10	回	5	回	6	回
	実績値④	9	回	3	回	*****	
活動一単位当たりの コスト(③÷④)	令和元年度	令和2年度		令和3年度			
	682,976円	1,853,290円		*****			

●担い手の点検と事業の終期【D0】

事業の委託状況	全て委託している	委託の内容	姉妹都市親善訪問団派遣 他
事業の終了時期	未定	事業の終了時期が未定の場合、事業の抜本的な見直し時期	令和3年度
事業の終了時期が未定の場合の理由	年々増加する外国籍住民との交流を図る国際交流協会を支援するため。		

評 価

●個別評価【CHECK】 ◎:適正 ○:概ね適正 △:適正ではない -:いずれにも該当しない

評価項目	評価項目		評価	評価項目		評価
	妥当性	有効性		効率性	公平性	
妥当性	市が関与することが適切か(委託・民営化は不可能)		○	効率性	単位コストは、前年を下回っているか	◎
	国・県・市・民間との役割は適切か		○		事業実績や目的に対して費用がかかりすぎているか	○
	変化する社会情勢の中で、事業の意義は失われていないか		○		委託等、手段を変更してもコスト削減は期待できないか	○
	事業に対する市民ニーズを把握しているか		○		事務の手段を工夫しても業務時間は短縮できないか	○
有効性	事業の目的は達成できているか		○	公平性	受益者に偏りはないか	○
	事務を継続することで、成果の向上が期待できるか		○		受益者負担を求めている、また、求めている状況は適切か	○
	事務成果が上位施策の目標達成に貢献しているか		○		受益者負担の割合は適切か	○
	他市町村と比べて上位に位置しているか		○		サービスの提供方法に公平性を欠いていないか	○
評価の総合的なコメント	新型コロナウイルスの影響により、日本語教室及び事業開催の多くが中止となり、会員数が大きく減少した。事業の実施方法などを見直しつつ、成果を高める必要がある。					
事業の方向性	(評価)	2 今後は、内容を見直して事業を拡大する				
	(理由)	外国人住民は増加傾向にあり、事業の必要性も拡大しているため。国籍、在留許可等の多様化や生活環境の変化に対応した事業展開が求められるため。				
民間委託又は市民協働拡大の方向性	国際交流協会と連携・協力しながら事業を推進していく。					
事業全体の課題	市（事務局）と国際交流協会との役割分担を明確にし、事業を推進していく必要がある。					

●近隣の状況【CHECK】

同類事業の近隣市の実施状況	姉妹都市との交流事業の実施状況 A市…姉妹都市親善団の派遣、姉妹都市親善団の受入、中学生・引率教諭の姉妹都市派遣、姉妹都市学生・引率の受入、姉妹都市との美術品交流
---------------	--

●参考意見等【CHECK】

市民サービス向上に向けた意見等	なし
-----------------	----

●改善案【ACTION】

今後の改善策	日本人会員の高齢化傾向と、低い認知度を改善するため、SNSや市内飲食店を活用した情報発信等を実施する。
--------	---

西尾市事務事業評価シート

事務事業No.	44	事務事業名 (中事業名)	地域公共交通運行事業 ()						
予算科目	02	01	13	大事業	10	中事業	00	担当課名	地域つながり課
総合計画施策コード	233			事務開始年度	平成13年度			備考	
根拠法令等	西尾市バス運行事業補助金交付要綱ほか						作成月	令和3年9月	

事業の概要

●事業の内容【PLAN】

事業の目的 (どうするために)	通勤、通学及び高齢者等交通弱者の移動の手段を確保する。
事業の対象 (誰(何)のために)	地域住民、通勤・通学を主とする利用者
事業の概要 (具体的に何を)	コミュニティバス(六万石くるりんバス、いっちゃんバス)及びおでかけタクシー「いこまいかー」を委託運行している。路線バス(岡崎・西尾線、一色線、寺津線、平坂・中畑線)やふれんどバスの欠損額に対し、補助を行い路線を維持している。

●事業費の内訳【DO】

項目	令和元年度(決算)	令和2年度(決算)	令和3年度(予算)	
事業費①	149,865,428円	297,806,352円	278,254,000円	
事業にかかる人工	2.00人	2.00人	2.00人	
事業にかかる人件費②	14,375,116円	14,532,904円	14,565,556円	
総事業費③(①+②)	164,240,544円	312,339,256円	292,819,556円	
総財源業内費③の	使用料・手数料	0円	0円	0円
	国からの支出金	0円	0円	0円
	県からの支出金	0円	0円	0円
	市費	163,916,544円	312,339,256円	286,819,556円
	その他 広告掲載料等	324,000円	0円	6,000,000円
R2 総事業費③の対前年度差額	148,098,712円	R2 総事業費③の対前年度比率	90.17%	
事業費の増減理由 (対前年度比10%超の場合記入)	令和2年4月に公共交通を再編したことに伴い、地域公共交通運行事業委託料が大幅に増加したため。			
事業費の中の 主な支出項目 (R2決算額)	項目	概要	金額	
	その他委託料	六万石くるりんバス運行事業委託料	178,767,595円	
	補助金	ふれんどバス運行事業補助金	50,914,000円	
	補助金	バス運行事業補助金	36,600,000円	

●指標の設定【DO】

(事業の実施にあたり、どれだけの成果(成果指標)を得るために、どれだけの活動(活動指標)をするか。)

成果指標	○事業で得たい成果を示すもので、受益者(市民)の観点から捉えた具体的な効果や効用(アウトカム)事業の目的						
	具体的な指標	年間利用者数の増加人数					
	指標の推移	令和元年度	単位	令和2年度	単位	令和3年度	単位
	目標値	17,000	人	-164,000	人	0	人
	実績値	-2,845	人	-79,476	人	*****	
活動指標	○事業全体の結果を示すもので、具体的な活動量や活動実績(アウトプット)						
	具体的な指標	年間利用者数					
	指標の推移	令和元年度	単位	令和2年度	単位	令和3年度	単位
	目標値	817,000	人	653,000	人	653,000	人
	実績値④	719,658	人	640,182	人	*****	
活動一単位当たりのコスト(③÷④)	令和元年度	令和2年度		令和3年度			
	228円	488円		*****			

●担い手の点検と事業の終期【D0】

事業の委託状況	一部委託している	委託の内容	コミュニティバスの運行
事業の終了時期	未定	事業の終了時期が未定の場合、事業の抜本的な見直し時期	未定
事業の終了時期が未定の場合の理由	公共交通の必要性は今後も高まっていくため		

評 価

●個別評価【CHECK】 ◎:適正 ○:概ね適正 △:適正ではない -:いずれにも該当しない

評価項目	評価項目		評価	評価項目		評価
	妥当性	有効性		効率性	公平性	
妥当性	市が関与することが適切か(委託・民営化は不可能)		○	効率性	単位コストは、前年を下回っているか	△
	国・県・市・民間との役割は適切か		○		事業実績や目的に対して費用がかかりすぎているか	○
	変化する社会情勢の中で、事業の意義は失われていないか		◎		委託等、手段を変更してもコスト削減は期待できないか	○
	事業に対する市民ニーズを把握しているか		○		事務の手段を工夫しても業務時間は短縮できないか	○
有効性	事業の目的は達成できているか		○	公平性	受益者に偏りはないか	△
	事務を継続することで、成果の向上が期待できるか		◎		受益者負担を求めている、また、求めている状況は適切か	○
	事務成果が上位施策の目標達成に貢献しているか		◎		受益者負担の割合は適切か	○
	他市町村と比べて上位に位置しているか		○		サービスの提供方法に公平性を欠いていないか	○
評価の総合的なコメント	通勤、通学及び高齢者等交通弱者の移動の手段を確保できた。					
事業の方向性	(評価)	1 今後も、ほぼ現行どおり(事業の内容・規模・手法)進める				
	(理由)	令和2年4月にバス交通を再編し、令和3年10月から本格運行を開始したため。				
民間委託又は市民協働拡大の方向性	民間のバス路線は利用者の減少等から、全国的に路線廃止の傾向であるため、市は市民生活に影響が出ないように、コミュニティバスを委託運行し、生活の足を維持していく。					
事業全体の課題	民間のバス路線は、利用者の減少や運転士の不足などから、路線の廃止・縮小の傾向となっている。					

●近隣の状況【CHECK】

同類事業の近隣市の実施状況	A市…バス路線運行委託料25,377,597円、バス運行対策費補助金334,648,700円 B市…あんくるバス運行事業276,657,894円、路線バス補助事業35,159,000円
---------------	---

●参考意見等【CHECK】

市民サービス向上に向けた意見等	なし
-----------------	----

●改善案【ACTION】

今後の改善策	令和2年4月にバス交通を再編し、令和3年10月から本格運行を開始している今後、路線ごとに設定した最低維持基準について毎年度評価を行うことで、より効率的な方法で移動手段の確保を図っていく。
--------	---

西尾市事務事業評価シート

事務事業No.	45	事務事業名 (中事業名)		名鉄西尾・蒲郡線対策事業 ()					
予算科目	02	01	13	大事業	11	中事業	00	担当課名	地域つながり課
総合計画施策コード	232		事務開始年度	平成22年度		備考			
根拠法令等	名鉄西尾・蒲郡線乗車運賃補助金交付要綱ほか						作成月	令和3年9月	

事業の概要

●事業の内容【PLAN】

事業の目的 (どうするために)	市の公共交通の根幹を担う名鉄西尾・蒲郡線を活性化させることによって、路線の存続を図る。
事業の対象 (誰(何)のために)	地域住民、観光等来訪者
事業の概要 (具体的に何を)	名鉄に西尾・蒲郡線の運行に対する支援金を支出している。 西尾市名鉄西尾・蒲郡線応援団に事業委託し、利用促進事業を実施している。 西尾・蒲郡線を利用する個人または団体を対象に運賃補助を行っている。

●事業費の内訳【DO】

項目	令和元年度(決算)	令和2年度(決算)	令和3年度(予算)	
事業費①	156,244,261円	153,479,451円	163,623,000円	
事業にかかる人工	1.70人	1.70人	1.70人	
事業にかかる人件費②	12,218,849円	12,352,968円	12,380,723円	
総事業費③(①+②)	168,463,110円	165,832,419円	176,003,723円	
総事業費の内訳③	使用料・手数料	1,065,000円	1,017,900円	1,033,000円
	国からの支出金	0円	0円	0円
	県からの支出金	0円	0円	0円
	市費	124,408,110円	139,769,519円	121,444,723円
	その他(寄附金)	42,990,000円	25,045,000円	53,526,000円
R2 総事業費③の対前年度差額	-2,630,691円	R2 総事業費③の対前年度比率	-1.56%	
事業費の増減理由 (対前年度比10%超の場合記入)				
事業費の中の 主な支出項目 (R2決算額)	項目	概要	金額	
	負担金	名鉄西尾・蒲郡線鉄道施設維持管理費負担金	150,687,000円	
	その他委託料	名鉄西尾・蒲郡線利用促進業務委託料	1,800,000円	
	補助金	名鉄西尾・蒲郡線利用促進事業費補助金	876,650円	

●指標の設定【DO】

(事業の実施にあたり、どれだけ成果(成果指標)を得るために、どれだけ活動(活動指標)をするか。)

成果指標	○事業で得たい成果を示すもので、受益者(市民)の観点から捉えた具体的な効果や効用(アウトカム)事業の目的						
	具体的な指標	名鉄西尾・蒲郡線の年間輸送人員の増加人数					
	指標の推移	令和元年度	単位	令和2年度	単位	令和3年度	単位
	目標値	70,000	人	72,000	人	-606,000	人
	実績値	-84,788	人	-729,647	人	*****	
活動指標	○事業全体の結果を示すもので、具体的な活動量や活動実績(アウトプット)						
	具体的な指標	名鉄西尾・蒲郡線の年間輸送人員					
	指標の推移	令和元年度	単位	令和2年度	単位	令和3年度	単位
	目標値	3,601,000	人	3,673,000	人	3,067,000	人
	実績値④	3,324,468	人	2,594,821	人	*****	
活動一単位当たりのコスト(③÷④)		令和元年度		令和2年度		令和3年度	
		51円		64円		*****	

●担い手の点検と事業の終期【DO】

事業の委託状況	一部委託している	委託の内容	鉄道の運行
事業の終了時期	未定	事業の終了時期が未定の場合、事業の抜本的な見直し時期	未定
事業の終了時期が未定の場合の理由	公共交通の必要性は今後も高まっていくため		

評 価

●個別評価【CHECK】 ◎:適正 ○:概ね適正 △:適正ではない -:いずれにも該当しない

評価項目	評価項目		評価	評価項目		評価
	妥当性	有効性		効率性	公平性	
妥当性	市が関与することが適切か(委託・民営化は不可能)		○	効率性	単位コストは、前年を下回っているか	△
	国・県・市・民間との役割は適切か		○		事業実績や目的に対して費用がかかりすぎているか	○
	変化する社会情勢の中で、事業の意義は失われていないか		◎		委託等、手段を変更してもコスト削減は期待できないか	○
	事業に対する市民ニーズを把握しているか		○		事務の手段を工夫しても業務時間は短縮できないか	○
有効性	事業の目的は達成できているか		◎	公平性	受益者に偏りはないか	○
	事務を継続することで、成果の向上が期待できるか		◎		受益者負担を求めている、また、求めている状況は適切か	○
	事務成果が上位施策の目標達成に貢献しているか		◎		受益者負担の割合は適切か	○
	他市町村と比べて上位に位置しているか		○		サービスの提供方法に公平性を欠いていないか	○
評価の総合的なコメント	平成22年度から支援金を拠出し、現在は令和7年度までの運行継続が約束されるに至っている。					
事業の方向性	(評価)	2 今後は、内容を見直して事業を拡大する				
	(理由)	名鉄西尾・蒲郡線は投資における基幹的な公共交通機関であるため、引き続き、市民に対する利用促進策や沿線地域外からの誘客推進策を実施していく。				
民間委託又は市民協働拡大の方向性	西尾市名鉄西尾・蒲郡線応援団（にしがま線応援団）を通じ、利用促進や誘客推進に取り組んでいく。					
事業全体の課題	平成22年度から支援金を拠出し、運行を継続しているが令和8年度からの運行は再協議が必要である。令和3年度時点で、名鉄は新型コロナウイルス感染拡大による業績悪化のため、当該路線の赤字額も拡大していることから、運行継続のためには厳しい協議が予測される。					

●近隣の状況【CHECK】

同類事業の近隣市の実施状況	A市…名鉄西尾・蒲郡線支援負担金99,313,000円、名鉄利用促進事業費2,600,000円
---------------	---

●参考意見等【CHECK】

市民サービス向上に向けた意見等	なし
-----------------	----

●改善案【ACTION】

今後の改善策	名古屋鉄道株式会社との連携強化による、思い切った誘客推進策の検討
--------	----------------------------------

西尾市事務事業評価シート

事務事業No.	46		事務事業名 (中事業名)	自転車対策事業 ()					
予算科目	02	01	13	大事業	13	中事業	00	担当課名	地域つながり課
総合計画施策コード	232			事務開始年度	平成5年度		備考		
根拠法令等	西尾市自転車駐車場の設置及び管理に関する条例ほか						作成月	令和3年9月	

事業の概要

●事業の内容【PLAN】

事業の目的 (どうするために)	駅やバス停留所に設置した自転車駐車場の維持管理し、公共交通機関の利便性を高める。
事業の対象 (誰(何)のために)	公共交通機関の利用者
事業の概要 (具体的に何を)	施設の維持管理、駐車自転車の整理、放置自転車の撤去など

●事業費の内訳【DO】

項目	令和元年度(決算)	令和2年度(決算)	令和3年度(予算)	
事業費①	4,042,888円	2,628,975円	3,129,000円	
事業にかかる人工	0.40人	0.40人	0.40人	
事業にかかる人件費②	2,875,023円	2,906,581円	2,913,111円	
総事業費③(①+②)	6,917,911円	5,535,556円	6,042,111円	
総財源業内費 の ③	使用料・手数料	0円	0円	0円
	国からの支出金	0円	0円	0円
	県からの支出金	0円	0円	0円
	市費	6,917,911円	5,535,556円	6,042,111円
	その他	0円	0円	0円
R2 総事業費③の対前年度差額	-1,382,355円	R2 総事業費③の対前年度比率	-19.98%	
事業費の増減理由 (対前年度比10%超の場合記入)	令和元年度に、名鉄西尾駅東歩行者通路下自転車駐車場増設工事を実施したため			
事業費の中の 主な支出項目 (R2決算額)	項目	概要	金額	
	その他委託料	自転車駐車場整理業務委託料	1,262,747円	
	敷地借上料	バス停留所自転車駐車場借上料等	885,332円	
	需用費	光熱水費	258,124円	

●指標の設定【DO】

(事業の実施にあたり、どれだけの成果(成果指標)を得るために、どれだけの活動(活動指標)をするか。)

成果指標	○事業で得たい成果を示すもので、受益者(市民)の観点から捉えた具体的な効果や効用(アウトカム)事業の目的						
	具体的な指標	放置自転車の年間撤去台数					
	指標の推移	令和元年度	単位	令和2年度	単位	令和3年度	単位
	目標値	290	台	280	台	270	台
	実績値	297	台	190	台	*****	
活動指標	○事業全体の結果を示すもので、具体的な活動量や活動実績(アウトプット)						
	具体的な指標	自転車駐車場整理回数					
	指標の推移	令和元年度	単位	令和2年度	単位	令和3年度	単位
	目標値	391	回	391	台	382	台
	実績値④	386	回	391	台	*****	
活動一単位当たりのコスト(③÷④)		令和元年度		令和2年度		令和3年度	
		17,922円		14,157円		*****	

●担い手の点検と事業の終期【DO】

事業の委託状況	一部委託している	委託の内容	自転車駐車場整理業務
事業の終了時期	未定	事業の終了時期が未定の場合、事業の抜本的な見直し時期	未定
事業の終了時期が未定の場合の理由	公共交通の必要性は今後も高まっていくため		

評 価

●個別評価【CHECK】◎:適正 ○:概ね適正 △:適正ではない -:いずれにも該当しない

評価項目	評価項目		評価項目		
	評価	評価	評価	評価	
妥当性	市が関与することが適切か(委託・民営化は不可能)	○	効率性	単位コストは、前年を下回っているか	○
	国・県・市・民間との役割は適切か	○		事業実績や目的に対して費用がかかりすぎているか	○
	変化する社会情勢の中で、事業の意義は失われていないか	○		委託等、手段を変更してもコスト削減は期待できないか	○
	事業に対する市民ニーズを把握しているか	○		事務の手段を工夫しても業務時間は短縮できないか	○
有効性	事業の目的は達成できているか	○	公平性	受益者に偏りはないか	○
	事務を継続することで、成果の向上が期待できるか	○		受益者負担を求めている、また、求めている状況は適切か	○
	事務成果が上位施策の目標達成に貢献しているか	○		受益者負担の割合は適切か	○
	他市町村と比べて上位に位置しているか	○		サービスの提供方法に公平性を欠いていないか	○
評価の総合的なコメント	公共交通機関利用者の利便性の確保のため、定期的な維持管理を行うことができた。				
事業の方向性	(評価)	1 今後も、ほぼ現行どおり(事業の内容・規模・手法)進める			
	(理由)	大きな需要の変化は見られないため。			
民間委託又は市民協働拡大の方向性	主要業務である自転車駐車場整理業務については引き続きシルバー人材センターに委託していく。				
事業全体の課題	コロナ禍で駅利用者が減少傾向のため、需要についても見極めていく必要がある。				

●近隣の状況【CHECK】

同類事業の近隣市の実施状況	A市…放置自転車対策事業10,904,939円(整理業務・借上料・光熱水費)
---------------	--

●参考意見等【CHECK】

市民サービス向上に向けた意見等	西尾駅東歩行者通路下自転車駐車場の明るさが乏しい。(既存電灯の取付には多額の費用が掛かるため、直下の電灯がなく、近隣店舗等の電灯で明るさを確保している状況。)
-----------------	---

●改善案【ACTION】

今後の改善策	自転車駐車場の明るさ確保のため、電灯のLED化を検討するとともに、西尾駅東歩行者通路下自転車駐車場のLED電灯の新設を検討する。
--------	--